



新羽中だより

令和6年2月19日(月)

2月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

いろいろな大人と出会うこと

校長 豊澤 尚弘

2年ぶりの積雪で2月が始まりました。真っ白になった世界に生徒たちも少し興奮気味で、楽しそうに雪とたわむれていました。(翌日の遅刻者は増えましたが。)

3年生は、おおむね上級学校の選抜試験を終えて、これから卒業に向かって準備を進めていきます。一方で、今月上旬には6年生の部活動見学や新入生保護者説明会がおこなわれ、6年生の少し緊張しつつも賑やかな声が聞かれました。まだ梅も桜も蕾(つぼみ)ですが、春には素敵な花を咲かせてくれることでしょう。

2月2日におこなわれた学校運営協議会では、12月にご協力いただいた学校評価アンケート(生徒・保護者)の結果もふまえながら学校運営報告をおこない、委員のみなさまからご意見をいただきました。いつも感じることですが、新羽の地域の方々は、いつも新羽中の生徒を気にかけて、応援してくださっています。そして穏やかに、温かく見守ってくださっています。本当にありがたいことです。

残念ながら生徒アンケートでは、「私は地域や社会のためにできることを学んだり考えたりしています。」に対する回答が、毎年のように最も低い数値になります。地域の大人に見守られていることは感じていても、地域や社会のために「貢献する」ところまで意識を高めるのは難しいかもしれません。中学生年代の特性でもあるので、この数値が他より低いことが直ちに問題だとは言えないと思いますが、それでも中学生なりに、またこれから成長していく中で、地域の行事や興味ある活動に参加して社会に触れてほしいと思います。できれば「お客さん」としてではなく、大人に混じって「運営する側」の経験をするとうれしいと思います。

なぜなら、いろいろな大人に出会い、学ぶチャンスだからです。テレビやSNSなどのメディアを通して目にする大人とは違う、リアルな大人です。一人ひとり性格も考え方も、仕事も生活も、好みも趣味も、あなたとの相性も違います。他者と出会い、他者を知ることは、あなたの興味関心を広げ、人間力を高めてくれます。

世の中にはいろいろな人がいること、時に表面からは見えない姿があること、それぞれに適切な距離感やコミュニケーションの方法があること。その人が嬉しいこと、悲しいこと、得意なこと、興味を持っていること、仕事や家族や社会への思い。社会がどのように動いているか、あいさつがなぜ大切なのか。など、大人と出会って感じることも、学ぶことは数え切れません。

いろいろな大人と身近に接することが、地域や社会に貢献する意識はもちろん、自らを見つめ(自律)、共に生きる力(共生)、持続可能な未来を切り開く力(創造)へとつながっていくことを願っています。

令和5年度 学校運営協議会 学校運営報告

(1) 「横浜市学力・学習状況調査」より

2年社会、2年理科で市平均より2P以上上回っている。一方で、全学年国語、1・3年社会、3年数学、1・3年英語では市平均を2P以上下回っている。教科や学年によって正答率の傾向にはばらつきがあり、学校全体としての傾向を読み解くことは困難である。各教科担任による分析を踏まえた授業改善が必要である。

(2) 「学校評価アンケート」より

生徒アンケートでは全体的に昨年度より下回っているが、保護者アンケートでは昨年度を上回った項目が多い。生徒アンケートからは、「ルールを守り、互いに思いやりをもって生活している生徒」「部活動や学校行事に積極的に取り組んでいる生徒」「困った時には相談できる先生」といった様子が浮かんでくる。昨年度に引き続き「地域や社会のためにできること」についての意識が他の項目より低い。学習活動に関する項目で昨年度を下回っている項目が多く、「興味関心をもち、進んで学習に取り組む生徒」の育成が課題となっている。

(3) 「学校教育目標」および中期学校経営方針「重点取組分野」について

〈学校教育目標〉(自律・共生・創造)について、「共生」に比べて「自律」の達成度は低く、生徒が主体的に活動する機会を増やす必要がある。重点取組分野のうち〈人権・道徳指導〉〈いじめ対応〉〈特別支援教育〉〈生徒指導〉〈健康教育〉の達成度は比較的高い。他を思いやる集団づくり、一人ひとりに寄り添う相談指導体制、健康的に生活しようとする意欲など、生徒アンケートの結果とも合致している。一人ひとりへの配慮がすべての生徒に行き渡るように、さらに取り組みを進める必要がある。〈学習指導〉について、少しずつ改善はしているものの「主体的・対話的な学習」および「ICTを活用した学習」など、教員の意識をさらに高め、新時代の学習への対応を進めていく必要がある。〈地域連携〉〈キャリア教育〉については、コロナ禍からの脱却とともに学校外との連携が徐々に復活してきている。各々の負担軽減を含めた持続可能な形を模索しながら、今後の効果的な方法を考えなければならない。

(4) 学校運営協議会委員より

〈働き方改革〉について、現在の教職員の働き方が「普通に生徒のためにやろうとすると時間外勤務の上限を超えてしまう」という現状を理解したうえで、地域や保護者も学校と協力していく必要がある。〈中学校給食〉について、味つけや配膳方法など工夫されていることがわかる。小学校でも食育に取り組んでいるが、残食が多いなど課題も多い。食育は家庭との連携も大切である。新1年生からの全員給食の実施を機会に、これからも食育に取り組んでほしい。

● 令和5年度 横浜市学力・学習状況調査(新羽中学校結果) ●

令和5年4月27日に実施された横浜市学力・学習状況調査の概要をお知らせします。
各学年とも、前年度の学習内容に基づく調査及び分析内容となります。

■教科別学習状況調査結果

[平均正答率 (%)]

		国語	社会	数学	理科	英語
新羽中学校	1年	59.4	67.1	53.1	64.3	84.4
	2年	65.8	62.9	57.4	68.0	73.8
	3年	65.8	56.6	59.3	58.9	65.8
横浜市	1年	63.7	69.7	54.4	64.9	87.6
	2年	67.9	60.8	56.3	65.3	74.0
	3年	68.9	60.0	62.4	59.5	69.4

国語	1年	全体的に市の平均の正答率を下回るものが多く見られた。特に、文学的な文章に関する問いでは知識・技能と思考・判断・表現のどちらも市の平均を下回るもの多く見られた。一方で、説明的な文章に関する問題では、知識・技能と思考・判断・表現のどちらも市の平均を上回る結果が見られた。語彙を豊かにし、登場人物の心情や人物像などを、描写を基に、ていねいに読み取っていく指導が必要であると考えられる。
	2年	全体的に市の平均の正答率を下回るもの多く見られた。特に文学的な文章に関する問題では、知識・技能分野の『表現の技法や意味について』の正答率が低かった。また情報活用に関する問題では、思考・判断・表現分野である『文章を読み理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする』問題の正答率が低かった。今後は語彙力を増やすと同時に、しっかりと語句の意味や用法を理解した上で使用する学習が必要と考えられる。
	3年	全体的に市の平均の正答率を下回るもの多く見られた。特に敬語の使い方の正答率が低かった。普段の会話などで意識しながら敬語を使い分けができるよう、学習を深める必要があると思われる。情報活用問題では、『情報を図式化したものを整理する力』は身につけている。しかし、『理解した情報を知識や経験と結び付け、自分の考えをもつ力』は市平均を下回っている。自分に必要な情報を選択する力・得た情報から自分の考えをもつ力を身につける教科指導が必要であると考えられる。
社会	1年	全体的には市平均の正答率を下回るもの多く見られた。特に思考・判断・表現の設問に関しては市平均を下回るもの多く見られた。一方で知識・技能に関しては市平均を上回る結果が随所に見ることができた。歴史分野の鎌倉時代の設問に関しては市平均を上回り、資料の活用ができていたことを見ることができた。
	2年	基本用語・事象の理解や簡単な資料の読み取りなどの基礎基本の定着が見られ、市平均を3%以上上回った。一方、思考・判断・表現に関する問題のうち、位置や空間的な広がりからの発展問題の正答率は5%以上市平均を下回っていた。地図や複雑な資料を複数読み取る問題では、正確な資料の読み取りとともに、必要な知識を結び付けて解答まで導くテクニックが必要になるので、多くの問題演習が今後も必要になると考えられる。
	3年	教科全体としては市平均を下回ることが多く、江戸～明治時代の分野については多くの設問で下回る結果となった。一方で、位置や空間的な広がりからの発展については、知識・技能で市平均を1.9%上回った。地理分野については、資料を読み取ることに市平均を上回る結果が随所に見ることができた。
数学	1年	空間図形ではどちらの観点も市平均を上回る形となり、特に思考・判断・表現の観点では4.7%上回った。一方で他の単元では市平均を下回るもの多く見られた。特に平面図形に関しては他の単元と比べて正答率が低く、今後の授業において配慮すべき点の一つであると考える。正答率全体をみると、分布にバラつきが見られ、様々な習熟の度合いに応じた教科指導が必要であると考えられる。
	2年	体積を求めることについて90%以上の正答率を示し、柱体や錐体の表面積を求めることについて12%以上市の平均を上回るなど、知識・技能に関する問題の正答率は比較的高く、市平均を3.5%上回った。一方、思考・判断・表現に関する問題の正答率は市平均を1.1%上回るにとどまった。また、数学科の学習で、答えを確かめたり、求め方を振り返ってよりよい方法がないかを考えたりして生徒の割合が市全体より高かった。課題解決の過程を大切に、自ら考え、判断し、表現できることに力を入れた。
	3年	全体的には市平均の正答率を下回るもの多く見られた。特に式分野の設問に関して、知識・技能と思考・判断・表現の両観点において、市平均を下回った。一方で確率や統計の分野に関しては、市平均を上回る結果が随所に見ることができた。問題を解く過程の理解を大切に、演習の機会を多く設けることで基礎的な計算力と応用力の定着を図りたい。
理科	1年	思考・判断・表現においては、4つの単元すべてで横浜市の平均を上回っている。しかし、知識・技能においては、4つの単元すべてで横浜市の平均を下回った。小学校の内容で、忘れてしまっていた部分もあると考えられるので、知識・技能においては、内容ごとに復習を繰り返していき、定着を図る必要がある。
	2年	ほぼ全ての内容に関して、横浜市の平均を上回っている。ただ、分野ごとの平均点を比べると、生物および地学分野は70%を越えるが、物理分野は60%台、化学分野については40%台であり、かなり正答率が低い。物理、化学は計算問題やグラフの作成、思考を要する問題が多いので、思考・判断・表現の力をつけていくことが重要であると考えられる。
	3年	4つの単元のうち、地球分野は横浜市の平均を1ポイント上回っている。しかし、エネルギー分野は0.5ポイント、生命分野は2.3ポイント、粒子分野は2.2ポイント平均を少し下回っている。観点別に見ていくと市の平均を、知識・技能は1.4ポイント下回っており、思考・判断・表現は0.6ポイント下回っている。調査の直前に学習した単元は正答率が高い傾向にあるが、学習してから時間が経っている単元になると正答率が低くなる傾向が見られた。知識・技能等の定着のために復習の機会を持つようにしたい。
英語	1年	全体的に市の平均の正答率を下回る結果となった。特に、思考・判断・表現の「聞くこと」と「書くこと」が、極端に市平均を下回っている。小学校で学習した内容を、英文法として整理しながら理解し、基礎学力の定着を図りたい。また、アウトプットをする場を多く設け、正しく活用する練習が必要であると考えられる。
	2年	知識・技能において、聞くこと・読むことはどちらも市平均を上回った。特に、聞くことの正答率は90%を超え、市平均を2.9%上回った。しかし、思考・判断・表現において、聞くことは64.9%(-3.2%)、読むことは76.6%(-0.6%)と市平均を下回る結果となった。知識を応用して考えたり、表現したりすることに苦手意識が見られるため、基礎を重視しつつ自己表現する機会も設けていきたい。また、正答率8割の生徒と5割の生徒に2極化しているため、復習を繰り返し、基礎の定着を図ってきたい。
	3年	思考・判断・表現の観点に、特に課題があることが見られる結果となった。シンプルな知識だけ問われる問題に関しては比較的正答率が高いので、身につけた語彙や文法に関する知識を活用し、習慣的にまとまった英文や会話を聞いたり読んだりして、要点をおさえて、内容を理解する練習を繰り返す必要があると考えられる。

令和5年度学校評価アンケート（令和5年12月実施）のまとめ

			昨年度		今年度		
生徒 アンケート	1	全体	私は、目標をもって学校生活を送っています。	3.01	B	2.99	B
	2	生活指導・保健安全	私は、自分の生活について考え、心身ともに健やかな生活を送っています。	3.08	B	2.99	B
	3	学習支援	私は、各教科の学習について、自ら考えながら、続けて取り組んでいます。	3.18	B	3.15	B
	4	人権道德	私は、互いの良さや違いを認め合い、思いやりをもって生活しています。	3.35	B	3.36	B
	5	生活指導	私は、ルールやマナーを守ることを心がけています。	3.48	A	3.44	A
	6	特別活動	私は、係や委員会など、クラスや学校のための活動に積極的に取り組んでいます。	3.02	B	2.97	B
	7	総合	私は、地域や社会のためにできることを、学んだり考えたりしています。	2.73	C	2.63	C
	8	特活・教務・行事	私は、学校行事に向けた活動を通して、成長しています。	3.25	B	3.16	B
	9	学習支援	先生は、各教科の授業で楽しく、わかる授業をおこなっています。	3.42	A	3.31	B
	10	生徒指導	先生は、困ったときに話を聞いてくれて、相談にのってくれます。	3.42	A	3.40	A
	11	総合・進路	私は、総合的な学習の時間などを通して、将来の仕事・生活や進路について考えています。	3.14	B	3.08	B
	12	保健安全	私は、教室等の学校の美化を心がけています。	3.09	B	2.97	B
	13	学習支援	私は、興味をもって授業に取り組んでいます。	3.19	B	3.09	B
	14	学習支援	私は、わからないことがあったら、質問したり自分で調べたりしてわかるようにしています。	3.19	B	3.09	B
	15	部活動	私は、部活動に楽しく積極的に取り組んでいます。	3.29	B	3.35	B
保護者 アンケート	1	全体	子どもは、目標をもって学校生活を送っています。	3.13	B	3.23	B
	2	生活指導・保健安全	子どもは、自分の生活について考えながら、心身ともにたくましく成長しています。	3.26	B	3.32	B
	3	学習支援	子どもは、自ら考え、継続的に学習に取り組んでいます。	2.99	B	3.07	B
	4	人権道德	新羽中の生徒は、互いの良さや違いを認め合い、思いやりをもって生活することができます。	3.28	B	3.28	B
	5	生活指導	新羽中の生徒は、ルールやマナーを守って生活しています。	3.34	B	3.31	B
	6	総合	新羽中の生徒は、身のまわりの集団や地域・社会のためにできることを考えています。	3.05	B	2.98	B
	7	特活・教務・行事	新羽中の生徒は、学校行事に向けた活動を通して、成長しています。	3.49	A	3.53	A
	8	生徒指導	学校は、生徒理解に努め、生徒に寄り添いながら相談活動の充実を目指しています。	3.31	B	3.30	B
	9	総合・進路	学校は、総合的な学習の時間などを通して、キャリア教育（進路や生き方の教育）の充実を図っています。	3.10	B	3.10	B
	10	管理職・教務	学校は、学校HP・学校だよりなどで情報を発信し、開かれた学校づくりを目指しています。	3.26	B	3.23	B

記号は【A=3.40P(80%)以上・B=2.95P(65%)以上・C=2.50P(50%)以上・D=2.50(50%)未満】で表記しています。

《個別支援学級 合同学芸会 1月25日 区交流会 2月14日》

1月25日は、西公会堂にて合同学芸会に参加をしてきました。本校生徒は、「YOASOBIのアイドル」の曲に合わせて、黒の旗をつかったダンスを披露しました。大きなステージで演技を発表することにより、生徒は自信と意欲を身につけ、仲間と協力して楽しい時間を過ごしました。



2月14日は、日吉台西中学校にて区交流会に参加をしてきました。クイズ大会やお別れセレモニーをみんなで行い、お世話になった区内の3年生を笑顔で送り出すことができました。

《百人一首大会 2年→1月30日 1年→2月2日》

5・6校時に、1・2年生で百人一首大会を行いました。体育館に畳を置き、班ごとに競いました。上の句で素早く札をとる姿も多く見られ、白熱した戦いが繰り広げられました。学年みんなで百人一首に親しむ楽しい会となりました。



《児童生徒交流 部活動見学 2月1日》

新羽小と新田小の6年生の児童が来校し、本校生徒会役員からの学校紹介と説明を聞いた後に、グループに分かれて、それぞれの部活動の見学をしました。中学生の一生懸命に練習する姿を真剣に見たり、拍手を送ったりするなど、小学生の児童は新たな刺激を受けたようです。中学校生活に期待を抱くとともに、中学生になることを楽しみにしている様子が見られました。



《第3回小中合同学校運営協議会 2月2日》

今回は、学校運営協議会の委員の皆様から中学校の給食の試食をしてもらい、小中の「食育推進」をテーマに話し合いをしました。給食を試食された委員の皆様からは、「思ったよりボリュームがあって美味しかった」「節分のメニューで鰯の魚が骨を感じなく美味しかった」などの感想をいただきました。話し合いでの一部のご意見を紹介します。

- 友達と楽しく食べられるグループでの会食がよいが、一方で賑やかに食べるのが苦手な子もいる。
- 小学校の残食が気になるが、みんなで食べるから食べられる子もいる。
- 中学校の大豆の例のように、自分たちで育て、作って食べるのはよい取組である。
(自分たちで育てる・作る・食べるなどの体験活動)
- 家庭では、食べることに興味・関心をもたせるようにするとよい。(学校と家庭の連携)
- 学校は栄養バランスのことを教えていくとよい。
- 学校は専門家や食育アドバイザーの話を聞く機会、学校内の畑の活用などを取り入れるとよい。

《新入生保護者説明会 2月7日》

来年度の新一年生の保護者を対象に説明会を行いました。在校生が体育館のシートを敷いてくれたり、椅子を並べたりと、素早く準備をしてくれました。

説明会では、中学校生徒会役員からの学校紹介、各担当の教諭より説明、教育委員会から「給食推進校」の説明、PTAからの説明がありました。終了後は、6年生の児童も合流をして、業者による体育着販売と制服の採寸を行いました。

新しい制服に身を包んだ新入生の皆さんと入学式でお会いできるのを楽しみにしています。



3月の主な行事予定

- 3月 6日 (水) 3年生を送る会
- 3月12日 (火) 卒業証書授与式
- 3月15日 (金) 1年球技大会
- 3月19日 (火) 2年球技大会
- 3月25日 (月) 修了式
- 3月26日 (火) ~4月7日 (日) 春季休業



1・2年生「すぐーる」登録のお願い

令和6年度より全ての横浜市立学校で導入される保護者と学校との新たな連絡ツールの「すぐーる」のご登録がまだのご家庭は、2月20日(火)までをお願いいたします。

2月21日(水)にテストメール配信をおこないます。ご協力をよろしくお願いいたします。

(詳細のプリント3部は、2月1日に生徒に配付しました。)

中学校給食 3月のPICK UP 献立

◆ごはんと一緒に食べましょう♪

3月 7日 (木) 鯛ごはんの具

(卒業と進級のお祝い!)

◆広島県の郷土料理

3月15日 (金) 煮菜 (にじゃー)



冬の寒さが和わらぎ、雪や氷が溶け、植物が芽を出す春。春の訪れを感じられるよう、3月の毎週木曜日は春が旬の食材をたくさん使った献立を取り入れています。